



英語指導力開発ワークショップを実施

関西大学大学院外国語教育学研究科は、7月25日から8月5日まで計10日間にわたり、国・公・私立中学校・高等学校の外国語科(英語)を担当する教諭または講師を対象として、「英語指導力開発ワークショップ」を実施した。田尻悟郎教授を中心に、6人の本学教員が講座を担当。英語指導技術を高めたい、新しい英語指導法を知りたい、生徒と心が通い合う授業がしたい、生徒の内面を引き出す授業がしたい、生徒同士が温かい気持ちを持って関わり合う授業をしたいと願う英語教員の方々に向けて、新しいタイプの英語指導力開発の機会を提供している。今回も、学習者心理をつかんだ指導技術、教師と生徒の信頼関係構築などに焦点を当てつつ、効果的な教科書の使い方など、充実した内容のワークショップとなった。

小・中・高校生向け夏休みセミナー開催



夏休み中の小・中・高校生が多数参加した各種セミナー。写真は機械工学セミナー「車いすの力学」での様子

関西大学では、大学の教育・研究の成果を広く社会に還元できるよう、地域・一般の方々を対象に各種公開講座・セミナーを開催している。今年も学校の夏休み期間に、次のような小・中・高校生向けプログラムが実施された。

機械工学セミナー「車いすの力学」/システム理工学部、法学部セミナー「考えてみよう、刑事裁判のこことー裁判員と検察審査会」/法学部、高校生のための心理学セミナー「人のこころの仕組み〜心理実習を体験しよう!〜」/社会学部、日本学術振興会「ひらめき☆ときめきサイエンス(飛鳥時代の古墳築造技術とその背景を探る)」、ワクワク夏休み科学実験/三大学医工薬連環科学教育研究機構、第12回サイエンスセミナー/システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部、日本学術振興会「ひらめき☆ときめきサイエンス(みえない世界を関西大学で体験してみませんか?)」、身体と頭を使って学ぶ健康セミナー「現代人にとって健康とは何か?」/人間健康学部、関西大学・高槻市主催 高槻市大学交流センター事業「アイデア工作スクール」

関大一中・東野教諭が南極地域観測隊夏隊に同行



南極・昭和基地(写真提供:国立極地研究所) 東野智瑞子 教諭

関西大学第一中学校の東野智瑞子教諭が、第53次日本南極地域観測隊夏隊の同行者として、平成23年11月25日に日本を出発する。これは、情報・システム研究機構国立極地研究所が昭和基地から衛星回線によるTV会議システムを利用して「南極授業」を行う教員を募集したところ、南極の温暖化に興味を持っていた東野教諭が応募し、選考により派遣されることが決まった。派遣教員は2人で、私学の教員では初めて。帰国日は平成24年3月19日の予定。「ぜひ、野生のペンギンたちを観察したいと思っています。太陽の沈まない日々や昭和基地での実生活の様子についてレポートし、南極に対する興味関心を持ってもらえるような授業を実現させたい」と、抱負を語る東野教諭の「南極授業」が今から楽しみだ。

サッカー部の櫻内渚さんがジュビロ磐田へ

体育会サッカー部の櫻内渚さん(政策創造学部4年)が、2012シーズンの新加入選手として、ジュビロ磐田への加入が内定した。これで、関大から4年連続でJリーグが誕生する。



ジュビロ磐田への加入が内定した櫻内さん(左)(写真提供:関大スポーツ編集局)

櫻内さんは、攻守にわたりハードワークができる右サイドバックで、身体能力が高く、1対1の守備には絶対の自信を持つ。同時に、持ち前の運動量でサイドを駆け上がり、随所で攻撃にも参加。空中戦にも強く、正確なパスやクロスを送り、ゴールを演出する。大学最後の1年間、活躍を続ける櫻内さんから目が離せない。



また、同じくサッカー部の寺岡真弘さん(政策創造学部2年)が、JFA・Jリーグ特別指定選手として、財団法人日本サッカー協会に承認され、ヴィッセル神戸が受け入れ先となることも決まった。

◀ Jリーグ特別指定選手として承認された寺岡さん(写真提供:関大スポーツ編集局)